

# ナゲットプロファイラー 操作手順書 作業者編

作成：2014年01月10日

更新：2024年02月07日

ナビ記録

写真選択 X

記録

停止 開始

完了/次へ

Sample 01	① 2	#003	#004
#005	#006	#007	#008
#009	#010	#011	#012
#013	#014	#015	#016

ページ 00 ◀ ▶

記録

出力 [-] [+] クリア

検査位置

001 ◀ ▶

①検査対象部位名のボタンをタップします。

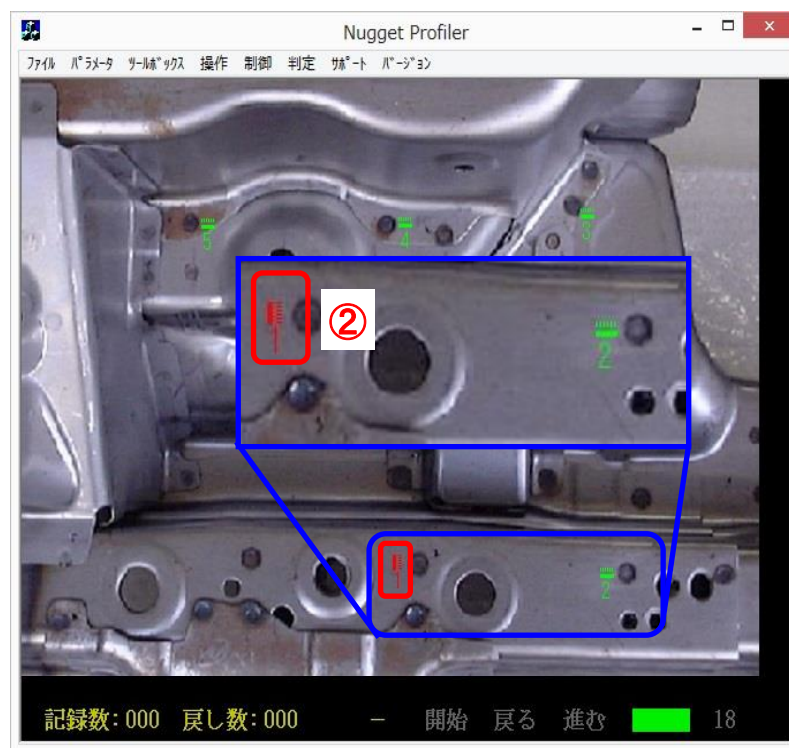
「ナビ記録」下段に検査対象部位名のボタンが16個並んでいます。

ページ00横のスライダーをタップするとページ送りします。  
(全20ページあります。)

写真画面に切り替わり、画面に検査対象の写真が表示されます。

②指示に従い1番目の検査対象箇所(赤マーク)にセンサーを当てます。

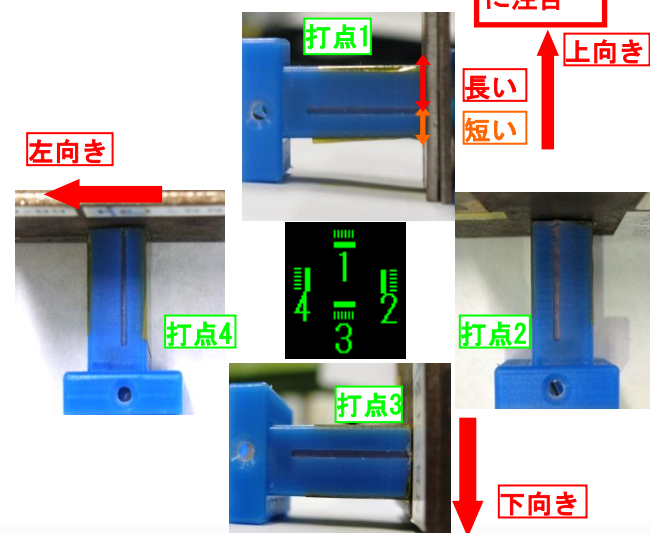
《センサーの向きに注意して下さい》

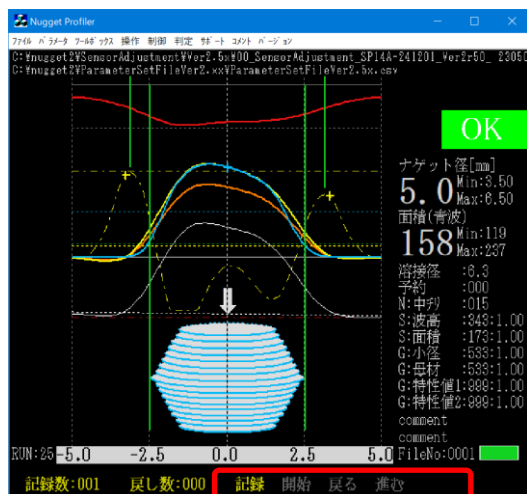


打点のマークとセンサー向きの関係は、下図の場合、

- ・ 打点1=センサー上向き
- ・ 打点2=センサー右向き
- ・ 打点3=センサー下向き
- ・ 打点4=センサー左向き

※溝位置に注目





自動的に写真画面から検査画面へと切り替わります。

③検査画面の青色波形の頂点が検査画面中央にあり、かつ青色波形の大きさが最大となる位置を探します。

⑤データ記録操作表示

④



データ記録操作表示と決定ボタン動作

「データ記録操作表示」の左端の表示によって異なります。

(a) 左端が「停止」の場合

停止 開始 戻る 進む

決定ボタン

記録 開始 戻る 進む &検査画面停止

決定ボタン

波形記録&写真画面移行

(b) 左端が「記録」の場合

記録 - 戻る 進む

決定ボタン

波形記録&写真画面移行

④検査波形を記録します。

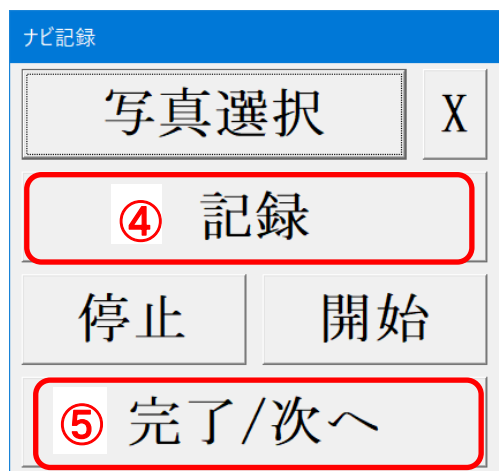
・検査波形を記録する方法は次の2つがあります。

◇「ナビ記録ダイアログ」の【記録】をタップします。

◇ケース裏のスイッチ【決定ボタン】を1回もしくは2回押します。

(管理者設定によって必要な押し回数が異なります。)

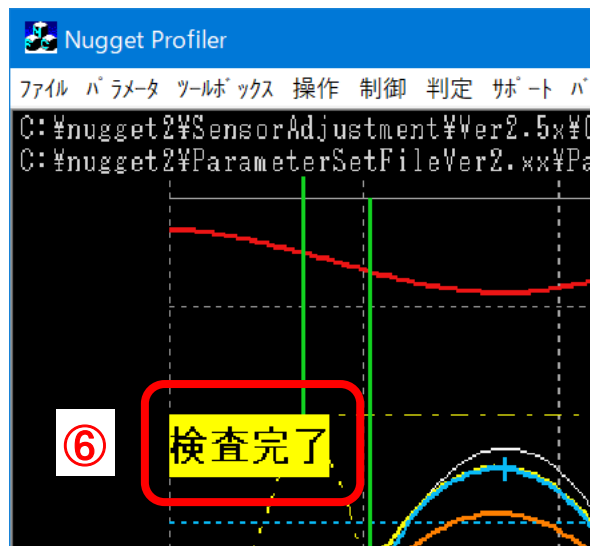
・記録後自動的に写真画面に切り替わり、2番目の検査箇所が赤マークに変わります)



## ⑤ 「ナビ記録」の【完了／次へ】ボタンをタップします。

- ・検査結果を自動的にファイルに保存します。
- ・写真画面に切り替わり、検査対象箇所が赤マークに変わります。

【完了／次へ】ボタンをタップせずに【写真選択】ボタンをタップした場合も、自動的に検査結果をファイルに保存します。



## 次製品の検査を始めます。

検査対象部位が変わる場合は「ナビ記録」の検査対象部位名のボタンをタップします。

## ⑥登録された打点の数だけ、記録を行います。

- ・全ての記録を行うと、検査画面に「検査完了」と表示されます